

News Letter

ニュースレター



2019年6月24日

独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するソーシャルボンドへの投資について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朝）は、SDGs 達成に向けた取組みの一環として、このたび独立行政法人国際協力機構（理事長 北岡 伸一、以下「JICA」）が発行するソーシャルボンドへ投資を行いましたのでお知らせします。

記

1. 投資の目的・方針

- ・当行は、SDGs 達成のために金融機関としてあらゆる活動を行っていくことを「めいぎん SDGs 宣言」にて公表し、目標達成に貢献できるよう様々な取組みを行っています。
- ・今回の国際協力機構債券（JICA 債）への投資もその一環として、開発途上地域の経済・社会の開発、日本および国際経済社会の健全な発展に活用する JICA 債の趣旨に賛同し、JICA の社会貢献活動を支援するために取組むものです。
- ・当行は、今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投融資を継続的に実施してまいります。

2. 本債券の概要

債 券 名	第 48 回 国際協力機構債券
発 行 総 額	100 億円
当 行 購 入 額	7 億円
利 率	年 0.059%
期 間	10 年（2029 年 6 月 20 日償還）
発 行 日	2019 年 6 月 20 日

<JICA>

JICA は、日本政府の定めた開発協力大綱に則って ODA（政府開発援助）政策を担う世界最大の二国間援助実施機関として高く評価されています。JICA 債の発行は、2016 年 12 月に策定された日本政府の「持続可能な開発目標（SDG s）実施指針」の具体的な施策の 1 つになっています。

<ソーシャルボンド>

国際資本市場協会が発行するソーシャルボンド原則が示すフレームワークに基づき、グローバルな社会的課題に対処するプロジェクトの資金調達のために発行される債券です。

以 上